

福島消防団総合訓練大会祝辞（R05.6.11）

おはようございます。早朝からの訓練大会参加大変ご苦労様です。

ただいまは、堂々の隊列行進、頼もしく拝見させていただきました。

総合訓練大会が、盛会裏に開催されます事につきまして、心からお祝いとお喜びを申し上げます。

全国的には減少傾向にありますが、2100 を超える消防団、78 万人を超える消防団員の皆様が、「自分たちの地域は、自分たちで守る」との郷土愛をもって活動を続けております。福島消防団の皆様が、日頃から予消防活動に精励されております事につきまして感謝の気持ちを含めまして敬意を表したいと思っております。

全国的に防災防火対策の効果で減少傾向にあるとはいえ、火災発生、集中豪雨など風水害の報道が毎日のようにあり、災害弱者であるお年寄りや子どもが犠牲になる報道も多くあります。幸い当町では、大きな災害もなく安堵しております。皆様方の努力の成果と思っております。

災害対策としては、施設整備などのハード対策、情報収集等のソフト対策も大事ですが、自分たちが、どのような危険と共存しているか、どんな危険が自分たちの周りにあるのかを知っておくことが大切ですし、その事を知らせる事、教え・伝える事が必要であります。

いざという時の防災意識の高揚には、地域の連携、人と人のつながり、地域コミュニティを大切に育てなければなりません。このような意味からも、地域に密着した消防団の役割は、ますます重要になってまいります。

どうか、中村団長さんを中心に尚一層消防団活動に精励され、町民の皆様の期待に応えていただきたいと思います。

6月25日には、八雲町で渡島総合訓練大会も開催されます。

本日の大会が、実りあるものとなりますよう、心からご祈念申し上げまして大変措辞ですが祝辞とさせていただきます。

元気に頑張ってください。ありがとうございました。終わります。